

## 「社員管理の強化」とセットで

## 「コスト削減」もどんどん推進！！

## リニア建設資金捻出に向けて一直線！

## 交番検査周期延伸に関する規程の変更について

## 会社から「通告」がありました！！

4月1日からの「命を守るルール」の導入で「社員管理」が強化されることは既にお伝えしてきたところですが、やはりそれとセットで「コスト削減」の動きもありました。

3月31日付で会社から労働組合に対して「新幹線電車実施基準規程等の変更について」という「提案」がありました。「提案」と言いながらその内容は

- ◎「交番検査の検査周期延伸に向けてテストカーでの走行試験を実施したが、問題のないことが確認できたから700系と923形以外の車両の検査周期を現在の3万キロから倍の6万キロにする」
- ◎「規程の変更については4月1日付だが既に3月23日に中部運輸局に届け出をしている」
- ◎「実施時期と周期延伸後の検査体制は別途明らかにする」

というものです。

しかし「テストカー」で何を検証したのでしょうか？！現場で作業していればおおよそ予想のつく「消耗品の摩耗量のデータ取り」に軸足を置いて「電気機器」等の検証は行っていません。会社はどのような内容の「届け出」を中部運輸局にしたのでしょうか。

そして、こうした「コスト削減」は社員から反対意見が出ないよう「社員管理の強化」とセットで推し進められます。モノの言えない職場で社員が萎縮するばかりでは安全に作業は出来ません。

社員の皆さん、納得いかない事柄に対しては共に声を出して下さい！